

琉球大学学術リポジトリ

琉球と日本本土の遷移地域としてのトカラ列島の歴史的 位置づけをめぐる総合的研究

メタデータ	言語: 出版者: 高良倉吉 公開日: 2009-03-03 キーワード (Ja): トカラ列島, 琉球, 十島村, 中之島, 奄美 キーワード (En): Tokara Islands, Ryukyuan, Toshima village, Nakanosima island, Amami Islands 作成者: 高良, 倉吉, 山里, 純一, 池田 栄史, 赤嶺, 政信, 狩俣, 繁久, 真栄平, 房明, 豊見山, 和行, 鈴木, 寛之, Takara, Kurayoshi, Yamazato, Junichi, Ikeda, Yoshifumi, Akamine, Masanobu, Karimata, Shigehisa, Maehira, Fusaaki, Tomiyama, Kazuyuki, Suzuki, Hiroyuki メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/9008

中之島文書調査報告

深澤 秋人

一、中之島文書の所在

『十島村文化財調査報告書（第二～四集）』には中之島文書が翻刻されている。刊行された当時、中之島文書は鹿児島大学教育学部の桑波田興氏の研究室に存在した。『十島村文化財調査報告書（第二集）』（一九八〇年）の序文で、桑波田興氏が刊行にいたる経緯を述べている。

中之島文書が鹿児島大学教育学部に存在した理由は、一九七六年、鹿児島大学教育学部社会科（当時）の斉藤毅氏が地理学科の夏期実習で十島村の中之島を訪れて中之島文書に接し、島の方々と相談した上で鹿児島大学教育学部に借り受けたことによるものである。斉藤毅氏は一九七七年に東京学芸大学に移ることになったため、桑波田興氏が所属する歴史学科に中之島文書の保管を委託した。さらには、桑波田興氏が一九七八年度に卒業論文を指導した歴史学科の学生二名が、卒業論文の材料として中之島文書を選び、漂着と年貢関係の文書の筆耕原稿を作成した。この原稿がもとになって刊行されたのが『十島村文化財調査報告書（第二集）』である。『十島村文化財調査報告書（第三集）』（一九八一年）は学生の手原稿とともに新たに筆耕した分を追加して刊行された。『十島村文化財調査報告書（第四集）』（一九八二年）はさらに新たに筆耕した分を追加して刊行されたものである。

『十島村文化財調査報告書（第四集）』が刊行された後、中之島文書は鹿児島大学教育学部から十島村役場に返却され、十島村が所蔵している。なお、現在は保管上の問題もあり、鹿児島県歴史資料センター黎明館で一時預かりとなっている。

二、中之島文書調査の概要

本科研の最終年度にあたる二〇〇三年度に鹿児島県歴史資料センター黎明館で二回にわたって中之島文書の調査を行った。一回目は八月一九日から二二日まで、二回目は九月二日から四日までである。二回目については、琉球大学大学院生の高良由加利氏が同行した。短期間の調査であり、以下の三点について確認などを行った。

- ①『十島村文化財調査報告書（第四集）』（以下『報告書』）巻末の目録と現存する史料との照合、目録に見える整理済みの史料二三三件が現存するかどうかの確認
*二三三件のうち目録では一五二件が『報告書（第二集～四集）』に収録され、残りの八一件は未収録とされる
- ②①の二三三件の史料以外に未整理の史料が存在するかどうかの確認

③①の未収録の史料のデジタルカメラによる撮影

なお、今回の調査については、当初は以下のような内容を予定していた。

ア) 『報告書（第二～三集）』に収録された琉球船の漂着関係史料（目録番号 20,30,33）の撮影

イ) ア) をもとにした『報告書』の校訂

ウ) ほかに琉球船の漂着関係史料が存在するかどうかの確認

エ) 琉球関係史料を中心とした仮目録の作成

ところが、ウ) については②のなかで行うことができたが、次に述べるようにア) イ) エ) については実施することができなかった。

三、中之島文書の現状

『報告書（第四集）』巻末の目録と現存する史料を照合した結果は以下の通りである。整理済みの史料は二つの段ボールに入れられ保存されている。それぞれの史料には目録の番号が記されたラベルが付されている。二三三件のうち確認できた史料は目録番号 37~233 の一九七件である。目録番号 1~36 の三六件については、現在のところ所在を確認することができなかった。中之島文書は十島村役場から鹿児島県歴史資料センター黎明館にすべて移送されているようである。三六件のなかには琉球船の漂着関係史料三件すべてが含まれている。したがって、当初予定していた琉球船の関係史料を中心とした調査は変更せざるを得なくなった。

所在を確認できない史料三六件のうち、目録上では二七件は『報告書（第二・三集）』に収録されている。残りの九件については未収録である。したがって、計算上では、所在を確認することができた史料は、『報告書（第二～四集）』に収録された一五二件のうち一二五件、未収録の史料八一件のうち七二件ということになる。未収録の史料のなかには、明治五（一八七二）年、明治一二（一八七九）年に漂着した朝鮮船の関係史料も含まれる。

ところが、照合を進めるするなかで、目録では収録とされるが、実際には未収録のものが二件（目録番号 52,53）存在することがわかった。その一方で、目録では未収録とされるが、実際には収録されているものが五件（目録番号 154,180,181,203,205）存在することも判明した。これらをまとめると以下のようなになる。

	目録の分類	確認できた史料	確認できない史料
収録	一五二件	一二八件	二七件
未収録	八一件	六九件	九件
合計	二三三件	一九七件	三六件

また、整理済みの史料二三三件のほかにも未整理の史料が存在することを確認できた。合わせ蓋の木箱に保存され、蓋には「中之島文書」と書かれた紙が貼られていた。明治一〇年代後半か

ら明治三〇年代のものが多く、明治一九（一八八六）年付けの地券がまとまって納められていた。近世期の史料、琉球船の漂着関係史料を見いだすことはできなかった。これらは時期的には整理済みの史料と重複することになる。整理済みの史料と同時に十島村役場から鹿児島県歴史資料センター黎明館へ移送されたとのことであるが、一九七六年段階で鹿児島大学教育学部に貸し出されていたかどうか、どのような経緯で十島村役場に保管されていたのかなどについては不明である。

四、目録番号と目次の史料番号の対照

ところで、『報告書（第四集）』巻末の目録と『報告書（第二～四集）』のそれぞれの目次とでは、タイトルが異なっている場合がある。また、目録では第二集から第四集の何れかに収録されているかはわかるものの、史料番号は明記されていない。そのため、目録からすぐに史料にあたることができない。そこで、所在を確認することができた目録番号 37~233 の一九七件のなかでも、『報告書（第二～四集）』に収録されている一二八件については、目録番号と目次の史料番号の対照表を作成することを試みた。目録で収録、未収録の区別に誤記があった七件については訂正し、どの史料が未収録なのかを確定した。調査の過程でメモを残してある情報についてはできるだけ備考に反映させた。『報告書（第四集）』の目録番号には枝番号はないものの、実際に史料に付されている目録番号のラベルに枝番号がある場合には枝番号を追記した。

《目録番号 目録のタイトル／収録されている場合は目次の史料番号 *備考》

- 37 飛船往來日数證文 明治三年／未収録
- 38 「萬書附留帳」明治四年（冊子）／四集史料①
- 39 「御番所造立並簀替ニ付御届書留帳」明治五年（冊子）／四集史料②
 - *簀は一字ではなく筵付の二字か
- 40 「御年貢物取納帳」明治五年（冊子）／四集史料③
- 41 「中之島江朝鮮人破船一卷」明治五年（冊子）／四集史料④
- 42-1・2 「明細書」明治六年（冊子）／四集史料⑤
- 43 「朝鮮人破船ニ付諸所飛船差出帳」明治六年（冊子）／未収録
- 44 「中之島江朝鮮人破船ニ付諸御用留」明治六年（冊子）／二集史料⑦
- 45 「飛船差出書留」明治六年（冊子）／三集史料⑩
- 46 「朝鮮人破船之節代良相渡帳」明治六年（冊子）／四集史料⑥
 - *良は錢の誤りか
- 47 「飛船差出書留」明治六年（冊子）／四集史料⑦
- 48 飛船差出書 明治六年（冊子）／未収録
 - *44（二集史料⑦）の冒頭部分
- 49 飛船差出書 明治六年（冊子）／未収録

- 50 朝鮮人破船ニ付諸御用留 明治六年(冊子) / 未収録
- 51 飛船差出書 明治六年(冊子) / 未収録
- 52 「中之嶋江朝鮮人破船之節中之嶋并口之島平嶋悪石嶋御用心米本拂帳」明治六年(冊子) / 未収録
 * 目録では二集に収録とされるが実際には未収録
- 53 「中之嶋江屯硫黄申請願書」明治六年(冊子) / 未収録
 * 目録では三集に収録とされるが実際には未収録
- 54 「御用留」明治八年(冊子) / 二集史料⑨
- 55 「萬覚帳」明治八年(冊子) / 四集史料⑧
- 56 「亥年御年貢取納帳」明治八年(冊子) / 二集史料⑩
- 57 「上納手籠出并節預ケ人数留」明治八年九年(冊子) / 四集史料⑨
- 58 「縣廳御用封」明治八年(冊子) / 四集史料⑩
- 59 非常用心米に関する通達 明治八年 / 四集史料⑪
- 60 非常用心米預覚 明治八年(冊子) / 未収録
- 61 「当子上納下節取集帳」明治九年 / 二集史料⑱
- 62 「遠島人引付留」明治九年(冊子) / 二集史料⑧
- 63 徳之島船破船届 明治九年(冊子) / 四集史料⑫
- 64 「当丑年下節取集帳」明治十年(冊子) / 四集史料⑬
- 65 「当寅年下節取集帳」明治十一年(冊子) / 二集史料⑳
- 66 「暴風ニ付倒家之御届書」明治十一年(冊子) / 二集史料⑩
 * 表紙の「暴風ニ付倒家之御届書」を消して「暴風ニ付御救助米之願」とする
- 67 「徴兵届留」明治十一年(冊子) / 未収録
 * 表紙に「徴兵届留 臥蛇島」とあり
- 68 暴風ニ付御救助米之願 明治十一年(冊子) / 四集史料⑭
- 69 非常米拂捨之願 明治十一年(冊子) / 未収録
 * 裏文書あり、「朝鮮人非常米」と見える
- 70-1~5、69(70カ)-6 諸御用飛船往来ニ付賃錢御下渡願(冊子) / 四集史料⑮
 * 70-5は四集⑭から脱、裏文書あり、撮影済み
- 71 諸御用ニ付飛船往来賃錢御下渡願(冊子) / 四集史料⑯
 * 71とは別個に目録番号のラベルを70から71に訂正した史料あり、71の案文の可能性あり、撮影済み
- 72 出生死亡員数届留 明治十一年 / 四集史料⑰
- 73 薩隈両国明治十一年分諸石代假相場 / 四集史料⑱
 * 隈は隅の誤りか
- 74 上縣旅費申請書 明治十一年 / 四集史料⑲

- 75 太政官布告第二十号 明治十一年／四集史料②
- 76 内務卿通達甲第二一号 明治十一年／四集史料21
- 77 船舶に関する鹿児島県令通達 明治十一年／未収録
- 78 民費賦課假方法ニ関する県令通達 明治十一年／四集史料22
- 79-1~16 飛船往來日数証文受取書 明治十一年／四集史料23
*封筒に入れられる
- 80 「朝鮮人介抱方ニ付諸品取集帳」明治十二年(冊子)／未収録
- 81 「朝鮮人方米打之人数留」明治十二年(冊子)／四集史料24
- 82 「朝鮮人漂着ニ付諸入費割付帳」明治十二年(冊子)／四集史料25
- 83 「朝鮮人破船ニ付諸入費金渡帳」明治十二年(冊子)／未収録
- 84 「朝鮮人式拾名漂着ニ付諸費計算書」明治十二年(冊子)／四集史料26
- 85 朝鮮人破船ニ付諸費申請 明治十二年(冊子)／四集史料27
- 86-1・2 朝鮮人破船ニ付人夫賃錢御下渡願書 明治十二年(冊子)／四集史料28
- 87 朝鮮人送り状 明治十二年／四集史料29
- 88 中之島外二島戸長役場經費御下渡之願 明治十二年／四集史料30
- 89 「卯之年下節煎取集帳」明治十二年(冊子)／二集史料21
- 90 「種子油配分帳」明治十三年(冊子)／未収録
- 91 大島へ稼方約定書 明治十四年／四集史料31
- 92 雇船人夫賃下渡願 明治十四年／四集史料32
- 93 「金錢留附帳」明治十五年(冊子)／四集史料33
- 94 「漂着者介抱方ニ付品々取集」明治十五年(冊子)／未収録
- 95 破船ニ付救助方ノ入費請求書 明治十五年／四集史料34
- 96 順幸丸破船届 明治十五年(冊子)／四集史料35
- 97 統計(山岳・原野・河川・戸数・人員その他口之島外二島) 明治十五年(冊子)／四集史料36
- 98 硫黄採取に関する約定証 明治十六年／四集史料37
- 99 「備荒儲蓄米配分帳」明治十六年(冊子)／四集史料38
- 100 約定書為取換一札之事(硫黄) 明治十六年／四集史料39
- 101 硫黄運賃約定書 明治十六年／四集史料40
- 102 儲品預証 明治十六年／未収録
- 103 「野取帳」明治十七年(冊子)／未収録
- 104 「野取帳」明治十七年(冊子)／未収録
- 105 「野取帳」明治十七年(冊子)／未収録
- 106 備米入札拂下申請 明治十七年／四集史料41
- 107 船買入方約定 明治十七年／四集史料42
- 108 借用証(亀油) 明治十七年／四集史料43

- 1 0 9 硫黄方覚書 明治十七年／四集史料4 4
- 1 1 0 硫黄方分配約定書 明治十七年／四集史料4 5
- 1 1 1 硫黄方飯米借用証書 明治十七年／四集史料4 6
- 1 1 2 硫黄積出高覚 明治十七年／四集史料4 7
- 1 1 3 全員書立 明治十七年／未収録
- 1 1 4 「野取帳」明治十八年（冊子）／未収録
- 1 1 5 「野取帳（悪石島）」明治十八年（冊子）／未収録
- 1 1 6 硫黄方諸覚書 明治十八年／四集史料4 8
- 1 1 7 諸税覚書 明治十八年／四集史料4 9
- 1 1 8 十九年大島行飯米并味噌取集（冊子）／四集史料5 0
- 1 1 9 地方税預り証 明治十九年／四集史料5 1
- 1 2 0 硫黄採掘約定証 明治十九年／四集史料5 2
- 1 2 1 硫黄代内金受取書 明治二十年／四集史料5 3
- 1 2 2 硫黄借用証 明治二十年／四集史料5 4
- 1 2 3 諸品覚書 明治二二年／未収録
- 1 2 4 借用証 明治二十二年／四集史料5 5
- 1 2 5 材木盗伐一件覚書 明治二十三年／四集史料5 6
- 1 2 6 硫黄代残金借用証 明治二十三年／四集史料5 7
- 1 2 7 硫黄製造高覚 明治二十三年／四集史料5 8
- 1 2 8 材木売却約定書 明治二十三年／四集史料5 9
- 1 2 9 「真米并白米入目小拂帳」明治二十四年（冊子）／四集史料6 0
- 1 3 0 「朝鮮人方番付順番帳」明治二十四年（冊子）／未収録
- 1 3 1 「朝鮮人方木屋造人数留」明治二十四年（冊子）／四集史料6 1
- 1 3 2 「朝鮮人漂着記」明治二十四年（冊子）／二集史料①
- 1 3 3 朝鮮人漂着二付入費明細書 明治二十四年／四集史料6 2
- 1 3 4 材木売却書 明治二十四年／四集史料6 3
- * 1 4 6 と綴られる
- 1 3 5 中之島近海漁方約定証 明治二十四年／四集史料6 4
- 1 3 6 朝鮮人漂着二付入費下附申請書 明治二十四年（冊子）／四集史料6 5
- 1 3 7 書翰（松田平吉より中之島世話人） 明治二十五年／未収録
- 1 3 8 諸税預り証 明治二十五年／四集史料6 7
- * 用紙の版心に「川辺郡□（戸カ）長役場」、ほかに「中之島外戸長之印」が捺される
- 1 3 9 開墾事業約定証 明治二十六年（冊子）／四集史料6 6
- 1 4 0 硫黄運賃確証 明治二十六年／四集史料6 8
- 1 4 1 硫黄方借用証 明治二十六年／四集史料6 9
- 1 4 2 船造立費引請書 明治二十六年／四集史料7 0

- 1 4 3 - 1・2 広告紙 明治二十七年／未収録
- 1 4 4 「税金納帳」明治二十八年（冊子）／四集史料 7 1
- 1 4 5 「諸品代金請取帳」明治二十九年（冊子）／四集史料 7 2
- 1 4 6 材木代領収証 明治二十九年／四集史料 7 3
* 1 3 4 と綴られる
- 1 4 7 材木代領収証 明治二十九年／四集史料 7 4
- 1 4 8 共有金収支書 明治三十年（冊子）／四集史料 7 5
- 1 4 9 明治廿九年分共有金収支決算書 明治三十年（冊子）／四集史料 7 6
- 1 5 0 薪・地・寺代受取書留 明治三十年／四集史料 7 7
- 1 5 1 廿九年度医師巡廻投薬代覚書 明治三十年（冊子）／四集史料 7 8
* 用紙の版心に「川辺郡中之島外九島役場」
- 1 5 2 共有金取扱ニ関スル定約証（同三冊） 明治三十年（冊子）／四集史料 7 9
- 1 5 3 「地所契約交換書」明治三十一年（冊子）／四集史料 8 0
- 1 5 4 官有地引戻方申請伝名帳 明治三十一年（冊子）／四集史料 8 1
* 目録では未収録とされる
- 1 5 5 統計（船税・農水産物・輸出入品その他）（冊子）／四集史料 8 2
* 用紙の版心に「川辺郡中之島外九島役場」
- 1 5 6 - 1 ~ 3 1 諸買物覚書 明治三十一~三十二年／未収録
* 封筒に入れられる
- 1 5 7 諸代金覚書 明治三十一年／四集史料 8 3
- 1 5 8 三一年度船子其他税書立（二人分）／四集史料 8 4
- 1 5 9 三一年度税書立（三人分）／未収録
- 1 6 0 運賃・読本代領収証／四集史料 8 5
- 1 6 1 書翰（黒島日高福助より中之島世話人）／未収録
* 差出は黒島の日高福助、受取は中之島世話人四人
- 1 6 2 「船中飯米受取帳」明治三十二年（冊子）／四集史料 8 6
- 1 6 3 世話人俸給納書／四集史料 8 7
- 1 6 4 - 1・2 統計（農水産物・輸出入品・税金・人口）明治三十二年（冊子）／四集史料 8 8、二集史料⑫
- 1 6 5 官有山林原野下戻申請委任状 明治三十二年／四集史料 8 9
- 1 6 6 - 1 ~ 3 「明治卅二年分共有金収支決算書」「中之島諸共有并ニ小学校方小拂帳」その他領収書（冊子）／未収録
- 1 6 7 モゾ代請取証 明治三十二年／四集史料 9 0
- 1 6 8 統計（農水産物・輸出入品その他）明治三十三年（冊子）／四集史料 9 1
- 1 6 9 諸品仕払覚 明治三十三年／未収録
- 1 7 0 農事組合規約（同二冊） 明治三十三年（冊子）／四集史料 9 3

- 171 鯉節製造御認可願 明治三十四年(冊子) / 四集史料92
- 172 「共有金請取高」明治三十五年(冊子) / 四集史料94
 *鹿児島上立馬場通千代屋製の原稿用紙を使用
- 173 学校方及登り入目料書立 明治三十五年(冊子) / 四集史料95
- 174 「中ノ嶋所一切一切仕拂帳」明治三十六年(冊子) / 四集史料96
- 175 「参拾六年度分現金受取本」明治三十六年(冊子) / 四集史料97
- 176 賃金書立 明治三十六年 / 未収録
- 177 鵜樽代配分覚書 明治三十七年 / 未収録
- 178 共有地益分配明細書その他 明治三十七年(冊子) / 未収録
- 179 世九年春登ノ節仕払明細 / 未収録
 *世は世の誤りか
- 180 共有金支払覚書 明治三十八年 / 四集史料98
 *目録では未収録とされる
- 181 米運賃書立 明治四十年 / 四集史料99
 *目録では未収録とされる
- 182 帆代金領収証 / 四集史料102
- 183 ムシロ代受取証 明治四十一年 / 四集史料100
- 184 現金入金受取証 明治四十二年(冊子) / 四集史料101
- 185 明治四二年度村会議員送別会酒代書立 / 未収録
- 186 登り之節諸品預覚 明治四十三年(冊子) / 四集史料103
- 187 諸品代明細書 明治四十二年~四十三年(冊子) / 四集史料104
- 188 「現金支拂帳」明治四十五年(冊子) / 四集史料105
- 189 大正八年度民山材木調へ / 未収録
- 190 「中之島一島共有土地及山林取締規約」大正十年(冊子) / 四集史料106
 *□(鮫カ)島紙店製の原稿用紙を使用
- 191 共有金受入書立 大正十三年 / 四集史料107
- 192 「金銭支拂と表」昭和四年(冊子) / 四集史料108
- 193 「金銭出入表」昭和四年(冊子) / 四集史料109
- 194 「現金収入表及ビ決算表」昭和五年度(冊子) / 四集史料110
 *鹿児島市大重紙店製の原稿用紙を使用
- 195 「現金在高及ビ貯金現在出資証券」昭和六年(冊子) / 四集史料111
 *鹿児島市大重紙店製の原稿用紙を使用
- 196-1~34 板垣氏宛書翰 / 未収録
 *封筒に入れられる
- 197 「鹿児島県鉱泉分析一覧表」(冊子) / 未収録
- 198 区戸長に関する諸規定(冊子) / 四集史料112

- 199 地券帳／四集史料113
- 200 登りの節鯉節預り覚え／未収録
- 201 登りの節諸産物預り覚え／未収録
- 202 領収証／未収録
- 203 領収証／四集史料114
* 目録では未収録とされる
- 204 種子物渡し覚／未収録
- 205 預り証／四集史料115
* 目録では未収録とされる
- 206 賃金書立／未収録
- 207 領収証／四集史料116
* 五件綴じられるも四件のみ収録、残り一件は撮影済み、未収録のものには森山店の印（「鹿児島市」「朝日通」？）あり、収録されている史料にも金伊商店の印（「鹿児島市小川町海岸〈屋号〉船具商 金伊商店」）あり
- 208 領収証／未収録
- 209 請取証／四集史料117
- 210 船税書立／未収録
- 211 鵜代金渡し証／未収録
- 212 朝鮮人登ノ時苦苓枚ツ々差出人覚／未収録
- 213 地名書立／未収録
- 214 書翰（森田平八より日高・白木）／未収録
- 215 約定書（証の誤り）書／四集史料119
* 目次では史料番号脱、四集二四一頁にはあり
- 216 書翰（松田平吉より寺田甚之助）／未収録
- 217 書翰／未収録
- 218 書翰／未収録
- 219 領収証／未収録
- 220 受取証／未収録
- 221 石炭油代受取／未収録
- 222 鯉漁占／未収録
- 223 荷物受取書／未収録
- 224 某金書立／未収録
- 225 某名前書立／未収録
- 226 「現金受取証」大正五年（表紙のみ）／未収録
- 227 飯米代書立／未収録
- 228 拝借米延期願（一枚）／未収録

*近世期のものか、「御勘定所」「午六月」と見える

229 口上覚(破船)(一枚) / 未収録

*二集史料④の六三～四頁に収録されている「口上覚」と同文(断簡)

230 御用船繰替願(一枚) / 未収録

*近世期のものか、「三嶋方宛」「親盛丸」「大嶋御用船」と見える

231 書翰包紙 / 未収録

232 書翰包紙 / 未収録

233 断片 赤罨紙(一八四戻分) / 未収録

【付記】二〇〇三年八月・九月の中之島文書調査では、十島村教育委員会、鹿児島県歴史資料センター黎明館学芸課、鹿児島県歴史資料センター黎明館調査史料室の方々に多大な便宜をはかっていただいた。なかでも十島村教育委員会教育長日高幸男氏、鹿児島県歴史資料センター黎明館学芸課課長山下廣幸氏、学芸課学芸調査係長肱岡隆夫氏、学芸調査係内倉昭文氏、吉満庄司氏、調査史料室室長徳永和喜氏、学芸課企画資料係長川野和昭氏には大変お世話になった。記して謝意を述べたい。

(ふかざわ あきと 沖縄国際大学非常勤講師)